

# 地域の社会課題解決企業支援のための エコシステム構築実証事業（地域実証事業）

## 事業内容紹介

2024年9月

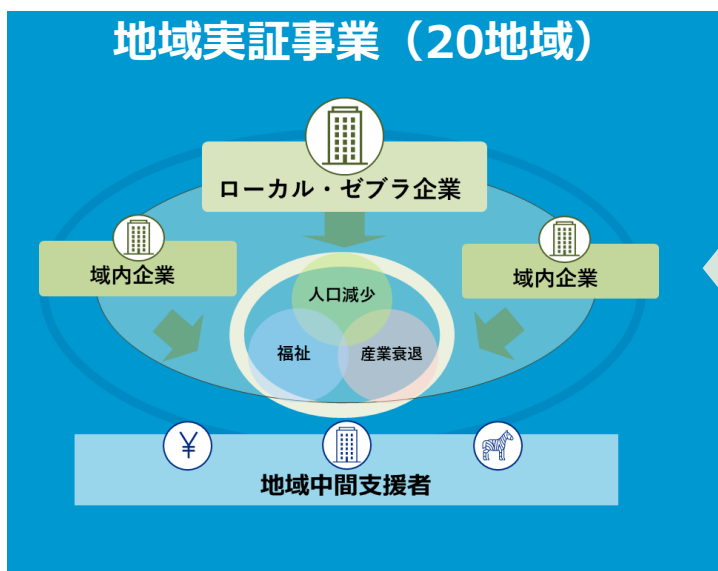
中小企業庁  
創業・新事業促進室

# 地域の社会課題解決企業支援のためのエコシステム構築実証事業

## 事業目的

ローカル・ゼブラ企業が地域内外の関係者と協力して地域課題の構造分析や社会的インパクトの可視化等に取り組み、事業計画や社会的インパクトの創出に向けた戦略をブラッシュアップし、新たな関係者との連携や支援体制の構築に取り組むことで、社会的インパクトを活用しながら地域課題解決事業に取り組む先行事例を創出するため、20件の実証事業を実施する。

## 【エコシステム構築実証事業イメージ図】



## 調査事務局

### 地域実証事業のサポート

- ・ソーシャルビジネスの専門家（メンター）を選定し、実証事業をサポート
- ・実証地域間の連携や知見の共有を実施
- ・成果報告会の開催

### 調査・分析

- ・インパクト測定・マネジメントの手法の整理
- ・優良事例や実証事業のビジネスモデルを分析し、横展開可能な要素等の抽出

# 地域実証事業一覧

| No. | 実証地域                | 申請者（幹事法人）          | 該当ページ               |
|-----|---------------------|--------------------|---------------------|
| 1   | 北海道十勝地域             | (一社)十勝うらほろ楽舎       | <a href="#">P4</a>  |
| 2   | 宮城県仙台市、丸森町          | (株)Wasshoi Lab     | <a href="#">P5</a>  |
| 3   | 宮城県仙台市              | (株)zero to one     | <a href="#">P6</a>  |
| 4   | 神奈川県西地域             | (株)湘南ベルマーレフットサルクラブ | <a href="#">P7</a>  |
| 5   | 長野県下高井郡野沢温泉村        | (株)野沢温泉企画          | <a href="#">P8</a>  |
| 6   | 静岡県静岡市（その他、静岡県中部地域） | (株)TeaRoom         | <a href="#">P9</a>  |
| 7   | 愛知県名古屋市及びその周辺地域     | 千年（ちとせ）建設(株)       | <a href="#">P10</a> |
| 8   | 石川県能登地域             | (株)御祓川（みそぎがわ）      | <a href="#">P11</a> |
| 9   | 京都府京都市右京区（京北エリアを想定） | (一社)ソーシャル企業認証機構    | <a href="#">P12</a> |
| 10  | 京都府京都市              | (一社)リリース           | <a href="#">P13</a> |
| 11  | 京都府 丹後地域            | (株)ウエダ本社           | <a href="#">P14</a> |
| 12  | 福井県高浜町              | (株)まちから            | <a href="#">P15</a> |
| 13  | 島根県大田市、大森地区・温泉津地区   | (株)石見銀山生活観光研究所     | <a href="#">P16</a> |
| 14  | 島根県隠岐郡海士町           | (株)離島キッチン          | <a href="#">P17</a> |
| 15  | 香川県三豊市              | (合)時代おくれ           | <a href="#">P18</a> |
| 16  | 熊本県 球磨川流域、白川・緑川流域   | (公財)地方経済総合研究所      | <a href="#">P19</a> |
| 17  | 鹿児島県/島嶼地域           | 東シナ海の小さな島ブランド(株)   | <a href="#">P20</a> |
| 18  | 鹿児島県                | (株)musuhi          | <a href="#">P21</a> |
| 19  | 沖縄県宮古島市             | (株)青空              | <a href="#">P22</a> |
| 20  | 沖縄県全域               | (株)うむさんラボ          | <a href="#">P23</a> |

幹事法人 一般社団法人十勝うらほろ楽舎

## Vision

## 食糧供給基地としての維持発展を目指して



一般社団法人十勝うらほろ楽舎  
理事  
北村 貴

食糧基地である十勝から日本の食を守るため、一次産業が抱える圃場の持続可能性や資材高騰等の課題解決につながる環境再生型農業の推進、また安心安全な食材を求める企業・消費者コミュニティとの連携と多様な人々との協業により新しい農業への転換を目指します。

## 法人概要

|       |                                                                                                            |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会社名   | 一般社団法人十勝うらほろ楽舎                                                                                             |
| 本社所在地 | 北海道十勝郡浦幌町寿町7-1                                                                                             |
| 設立    | 2020年4月                                                                                                    |
| 事業内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり事業</li> <li>うらほろスタイル推進事業</li> <li>スポーツコミュニケーション事業 他</li> </ul> |

ウェブサイト▶ <https://uragaku.or.jp/>

## ローカル・ゼブラ企業

TASUKI 合同会社 ▶ <https://nougyou-intern.com/>

## 主要な連携者

アグリシステム株式会社、株式会社アサヒ・アグリ・アクション  
伊場ファーム、有限会社オーランドファーム  
合同会社CFP

## 実証地域の特徴・課題

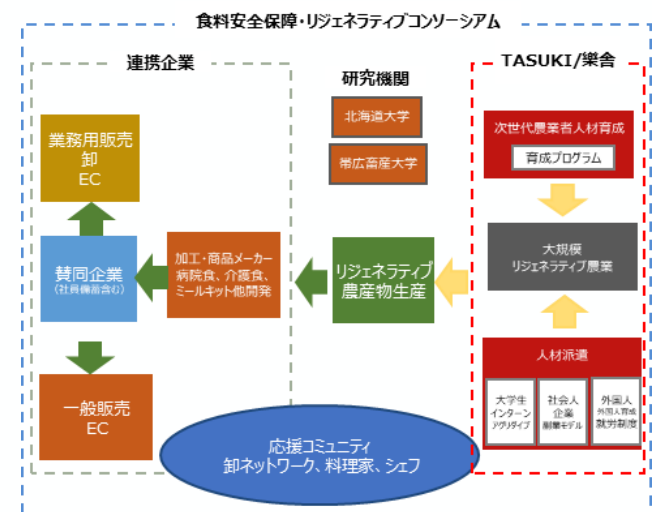
安定供給で日本の食卓を守る十勝型大規模農業は、農業従事者の減少や化学肥料、農薬、資材など海外からの輸入価格高騰による収益の圧迫などにより、**農業経営の持続可能性に黄色信号がともっている**。また土壌の劣化が進行し、水はけの悪さや病害を招いているなど環境の負担も大きい。

## 地域課題解決事業の概要

「土壌を修復し、自然環境を回復する農業スタイル」である**環境再生型農業(リジェネラティブ農業)**を進め、生産者と企業・消費者が連携し、畑の現場とマーケットがつながる仕組みの構築を模索する。  
これにより、企業や消費者は年間を通じて安全で質の高い農産物を入手することができ、**農家は一定額の収入が確保される十勝型リジェネラティブCSA(地域支援農業)**ができると仮説。  
20ha超の大規模営農で、農業経営体モデルとして確立を目指す。

## 社会的インパクト

食料安全保障全体の課題解決、地球環境・生態系の維持・回復、農業に関わる新たな働き方の構築



## 目指す地域の姿

十勝農業の基盤となる作物をつくる「土」と「人」を守り育て、環境再生型農業にシフトすることで、農業経営・大規模農業生産を持続可能にし、**食糧供給基地として維持発展する地域**を目指すとともに、豊かな自然環境や生態系を守り回復させる。農業や地域における多様な働き方を創出し、移住者や関係人口を増やすことで地域コミュニティを維持発展させる。

幹事法人 株式会社Wasshoi Lab

## Vision

## どんなライフステージでも女性が輝ける地域を目指して



株式会社Wasshoi Lab  
代表取締役  
齊藤 良太

これまで東北で様々な地域活性化事業を行ってきて気づいたのが、観光活性するにも、移住定住促進するにも、「今そこに暮らす人たちにとって地域が魅力的であること」が重要だということです。

地域で働き、暮らすことに希望を持てる状態を目指します。

## 法人概要

会社名 株式会社Wasshoi Lab

本社所在地 宮城県伊具郡丸森町町西22-2

設立 2016年1月

事業内容

- ・ 地方創生コンサルティング事業
- ・ 交流人口・関係人口創出事業
- ・ DMO・地域商社設立支援事業 他

ウェブサイト▶ <https://wasshoilab.jp/>

## ローカル・ゼブラ企業

株式会社キューテスト ▶ <https://cutest.biz/>

株式会社Wasshoi Lab

## 主要な連携者

まるもりんく株式会社、株式会社コー・ワークス  
株式会社きちみ製麺、エンスペース株式会社  
七十七リサーチ&コンサルティング株式会社  
株式会社パソナJOB HUB

## 実証地域の特徴・課題

可処分時間の少なさや経済基盤の不安定さ等が原因で、女性が「子育てとキャリアの両立」を諦めざるを得ない地域であり、その結果、出生率の低下や人口流出、産業の衰退など様々な課題を連鎖的に引き起こしている。

## 地域課題解決事業の概要

女性にとっての良質な雇用の創出を実現するため、女性が地域間の壁や格差を乗り越えて柔軟な働き方を手に入れながら、収入の向上を実現する**リスキリング事業**を核として展開する。

また、これを実現するために、保育士経験者によるベビーシッターサービスなどの**育児負担を軽減させるためのサービス提供**も併せて行う。

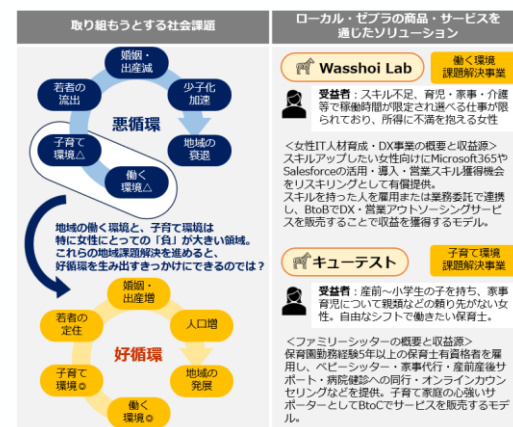
さらに、これら2事業の連携による**官民連携モデル**を構築して横展開することで、更なる社会的インパクトの創出を目指す。

## 社会的インパクト

ITスキルにより十分な所得と自由な働き方が両立する仕事とそこで働く女性の創出、育休復帰後の生活満足度上昇、県内中小企業のDX促進、保育士のキャリア形成モデル創出

## 目指す地域の姿

地域発展上のレバレッジポイントとしての「女性が輝く地域づくり」を提案し、女性が子育てとキャリアの両立を諦めず輝ける地域になることで、人々が豊かに暮らし続けられる持続可能な地域を目指す。



幹事法人 株式会社zero to one

## Vision

## 「日本一の AI-Ready 都市・仙台」を実現し社会課題解決を推進する



株式会社zero to one  
代表取締役CEO  
竹川 隆司

教育の社会的価値は大きいものの、リターンまでの期間も長く、計測自体も困難なケースがほとんどです。私たちは、地域内でAI・デジタル人材育成を進め、地域企業のDX推進に伴走することで結果(=リターン)を出し、教育の社会的価値を証明します。

## 法人概要

|       |                                                                                   |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 会社名   | 株式会社zero to one                                                                   |
| 本社所在地 | 宮城県仙台市若林区卸町2-9-1                                                                  |
| 設立    | 2016年1月                                                                           |
| 事業内容  | 「社会とともにイキイキと生き続ける力を引き出す」をミッションに、AI・デジタル分野を中心に、産学連携による教育コンテンツの開発とオンラインでの提供を行っています。 |

ウェブサイト ▶ <https://zero2one.jp/>

## 主要な連携者

一般社団法人 IMPACT Foundation Japan  
株式会社ミヤックス  
今野印刷株式会社  
KPMGコンサルティング株式会社  
仙台市  
東北大学

## 実証地域の特徴・課題

人口減少や高齢化等の社会課題の深刻化が他地域にも増して進む中、地域経済の維持・発展に不可欠なDX推進による業務効率化や付加価値向上へ意識も実際の取り組みも弱い。また魅力的な挑戦、活躍の場の欠如により、若手人材流出も顕著である。

## 地域課題解決事業の概要

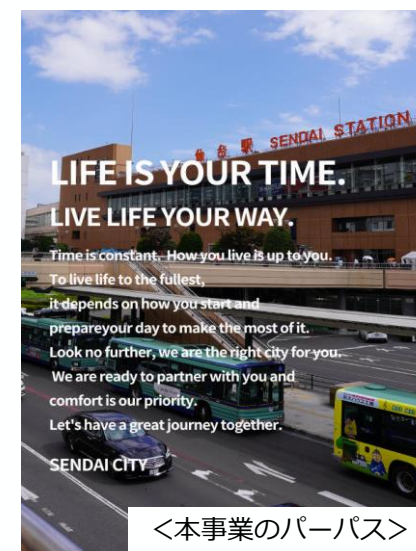
「日本一のAI-Ready都市・仙台」を目指し、産官学連携で市内企業を「AI関連ビジネス開発」と「AI-Ready人材育成」両輪で支援、社会課題解決を促す。

「AI関連ビジネス開発」では、経営層向け教育プログラムやAIビジネス開発ワークショップ等を実施、最終的にアワードイベントを開催することで、地域企業のAI活用・DX推進モデル事例を創造・共有する。

「AI-Ready人材育成」では、明確なKPIのもとAI・デジタル人材育成プログラムを実施し人材発掘とスキルアップ実現。ここで育成した人材が「AI関連ビジネス開発」で活躍するエコシステムを創出する。

## 社会的インパクト

AI・DXによる魅力的な企業の創出・収益性の向上、AI-Readyな市内企業による社会課題解決



<本事業のパーパス>

## 目指す地域の姿

AI・デジタル人材の集積が他地域にも増して進み、その人材や属する企業から新たなソリューションが生まれ、ビジネスが発展していくことで、地域経済の成長、新たな人材の流入、外部からの資金流入が実現する持続的・自律的に循環するエコシステムの形成を目指す。

幹事法人 株式会社湘南ベルマーレフットサルクラブ

## Vision

## 地域スポーツ団体が持つ「知的財産」を活かした地域課題の解決



株式会社湘南ベルマーレフットサルクラブ  
代表取締役社長  
佐藤 伸也

我々はスポーツの持つ、明るいイメージや人を巻き込む力で、スポーツ領域を超えてみなさんと連携をとり、地域課題を解決するコンテンツとしての価値を示したいという想いを強く持っています。

## 法人概要

|       |                                              |
|-------|----------------------------------------------|
| 会社名   | 株式会社湘南ベルマーレフットサルクラブ                          |
| 本社所在地 | 神奈川県足柄上郡大井町上大井408-1<br>ZUCC FUTSAL BASE 大井2階 |
| 設立    | 2010年5月                                      |
| 事業内容  | 総合型地域スポーツクラブ<br>【湘南ベルマーレ】のフットサル部門            |

ウェブサイト ▶ <https://www.bellmare-futsal.com/>

## ローカル・ゼブラ企業

株式会社ミリョクリエ

## 主要な連携者

湘南ケーブルネットワーク株式会社  
報徳仕法株式会社  
株式会社みらいワークス  
クラブツーリズム株式会社

## 実証地域の特徴・課題

課題解決事業に積極的に関与する人材を育成する仕組みが構築できていないことや外部人材も呼びこめないことにより、地域課題解決力が向上しない。若者が地域のまちづくりに積極的に参加する環境が整えられていない。地域特有の閉鎖感があり、外部からのアイデアや人材が活用されない。立場や組織を超え、円滑に協働できる体制が構築されていない。地域課題の可視化・共有がされていない。地域課題と企業をマッチングする仕組みが構築できていない。

## 地域課題解決事業の概要

地域スポーツ団体が持つ、行政、教育機関、地域企業との関係性、ファンやサポーター、選手や専門知識を持つ人材、イベントやホームゲームなどの場や機会等の「知的財産」を活かしながら、企業が持つノウハウや経験、サービスや製品を活用し、地域の課題解決に取り組む人材の育成及び地域外の人材活用の促進を図る。

## 社会的インパクト

地域スポーツ団体が持つ、「知的財産」活用し、社会課題解決事業に取り組む人材の育成や外部人材の活用の推進する。



## 目指す地域の姿

行政課題は行政だけ、企業課題は企業だけが取り組むのではなく、行政、企業、学校、住民、NPOなどの団体が横連携を図り、それぞれの立場から課題の抽出と解決へ関与する持続的地域エコシステムの構築。

幹事法人 株式会社野沢温泉企画

## Vision

## 水と人が豊かに暮らす郷村を目指して



株式会社野沢温泉企画  
代表取締役  
河野 健児

野沢温泉の人々が受け継いできた温泉文化、祭り文化は地域を支えてきたアイデンティティです。観光の通年化、移住定住の促進により一朝一夕では築くことができない生活文化とそれを支える自然を後世に持続可能な形で残していきたいです。

## 法人概要

|       |                                                          |
|-------|----------------------------------------------------------|
| 会社名   | 株式会社野沢温泉企画                                               |
| 本社所在地 | 長野県下高井郡野沢温泉村大字豊郷9254                                     |
| 設立    | 2022年8月                                                  |
| 事業内容  | 建築、不動産、エリア開発の企画、開発、運営及びコンサルティング、まちづくり、地域活性化についてのコンサルティング |

ウェブサイト▶ <https://www.nozawa-onsen.co.jp/>

## 主要な連携者

一般社団法人野沢温泉マウンテンリゾート観光局(野沢温泉DMO)  
株式会社野沢温泉  
NPO 法人おせっ会  
なっばコンサル  
株式会社NEWPEACE  
株式会社NEWLOCAL

## 実証地域の特徴・課題

人口減少に加え観光客が減少。夏季の魅力整備や建物の有効活用の検討が遅れていることにより、雇用の安定化や新規開業者の確保が進んでいない。

## 地域課題解決事業の概要

高齢化により、閉業した民宿等の遊休施設を改修し、現在不足している機能を補完することで観光の通年化、移住・定住や起業・雇用の促進を図り、「水と人が豊かに暮らす郷村」を実現する。

そのため、①遊休施設の活用し、事業規模(売上)の拡大、②夏季コンテンツの整備による宿泊客数の増加、③起業・雇用を促進する仕組み作りによる雇用・移住者の拡大を行う。



## 社会的インパクト

観光地強化、移住・定住促進、起業・雇用促進

## 目指す地域の姿

人口減少に悩む地域において地域と外部の人材が力を合わせ、事業を通じて社会課題を解決しつつ持続可能な地域モデルをつくることで、日本・世界の先例となることを目指す。

## Vision

## お茶の文化を未来に継がせていくために



株式会社TeaRoom  
代表取締役社長

岩本 涼

茶業の衰退は日本文化を世界へ伝えていく接点を失うことであり、すなわち国力の低下、特にソフトパワーの低下を意味するものであると理解をしています。産業を復活させ、新たな文化を創造していくことを目標に地域の皆様と共創を重ねてまいります。

## 法人概要

|       |                                                                                        |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 会社名   | 株式会社TeaRoom                                                                            |
| 本社所在地 | 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-38-14<br>STANTION kitasando 5階                                             |
| 設立    | 2018年5月                                                                                |
| 事業内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本茶生産・販売・コンサルティング業</li> <li>文化関連事業 他</li> </ul> |

ウェブサイト▶ <https://tearoom.co.jp/>

## 主要な連携者

株式会社静岡銀行  
株式会社静岡茶市場  
株式会社THE CRAFT FARM

## 実証地域の特徴・課題

茶価格低迷による茶農家の収入低下・茶園老園化・就労者高齢化等の複合的な課題を抱えており、衰退の一途を辿っている。

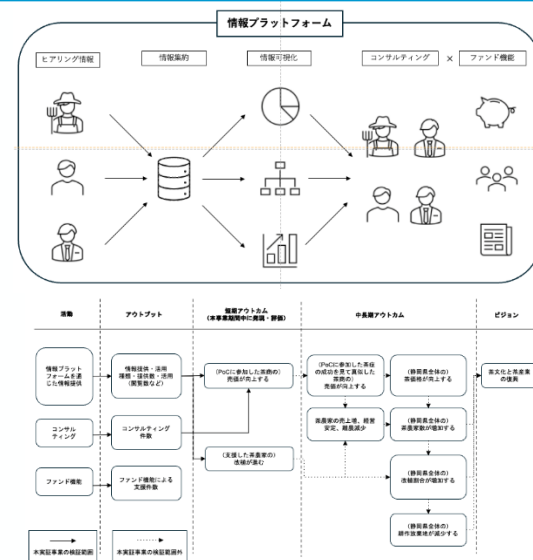
## 地域課題解決事業の概要

茶価格向上(茶商の売価向上)を目指して、茶業界特化の情報プラットフォーム構築し、茶商に対してミクロな需要トレンドや国内・国外の流通データを解放しながら、茶商の経営方針等や活用可能なアセットに合わせたコンサルティングとファンド機能での伴走支援を実施する。

これらをもとにした新規事業開発支援を行うとともに、関係機関との連携により茶商の海外や周辺産業への進出支援を行うことで、プラットフォームを起点としたエコシステム形成を目指す。

## 社会的インパクト

茶価上昇や茶畑振興、産業人口創出による茶文化存続、茶産業復興



## 目指す地域の姿

茶価格の上昇から所得の向上、関係人口創出、茶業再興の好循環へとシフトさせ、お茶の文化を守り続けることができる地域を目指す。

幹事法人 千年建設株式会社

## Vision

## 住まいの社会課題アプローチから始まるエコシステムの形成



千年建設株式会社  
代表取締役社長  
岡本 拓也

コロナ禍を契機に「良質な住まいと繋がり」をコンセプトに母子家庭への住まい提供を事業として行い、社会から必要とされている事業だと実感しています。この取り組み・エコシステムを広げ、社会課題解決のスピードを高めてまいります。

## 法人概要

|        |                                                                                                 |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会社名    | 千年建設株式会社                                                                                        |
| 本社所在地  | 愛知県名古屋市熱田区千年1-11-3                                                                              |
| 設立     | 1983年10月                                                                                        |
| 事業内容   | <ul style="list-style-type: none"> <li>新築施工事業</li> <li>営繕施工事業</li> <li>アルミニウム構造物施工事業</li> </ul> |
| ウェブサイト | ▶ <a href="https://chitosekensetsu.co.jp/">https://chitosekensetsu.co.jp/</a>                   |

## ローカル・ゼブラ企業

株式会社LivEquality大家さん ▶ <https://livequality.co.jp/ooya>

## 主要な連携者

認定 NPO 法人 LivEquality HUB  
弁護士法人ハレ  
医療法人アライフサポート、他

## 実証地域の特徴・課題

母子家庭などの弱い立場の市民にとって経済的および社会的課題の中心に住宅問題が存在しており、適切な住宅を確保することが一層困難になっている。

## 地域課題解決事業の概要

低価格で質の高い住宅を戦略的な場所に提供し、特に母子家庭の住宅困窮を解決する。これにより、住民の生活の質が向上し、地域全体の安定に寄与する。多様なセクターとの連携を深めることで、地域経済の相互依存を強化し、新たなビジネスチャンスを創出する。孤立しやすい母子に対して定期的な地域イベントを企画し、住民が参加する機会を提供することで、コミュニティの活性化を図る。

## 社会的インパクト

住宅安定確保、雇用機会の創出と経済の活性化、コミュニティの強化



## 目指す地域の姿

住宅政策の見直し、新たな公的資源の配分、民間とのパートナーシップの強化、そして地域コミュニティの活性化を通じて、住民一人ひとりが安心して生活し、活力ある地域社会を実現する。

幹事法人 株式会社御祓川

## Vision

## チャレンジが生まれ続ける「小さな世界都市」の実現を目指して

株式会社御祓川  
代表取締役  
森山 奈美

創造的復興は小さなチャレンジの積み重ねの先にこそ成し遂げられると思います。  
震災によって問題の深刻度合いが増したからこそ、地域の外との関わりしろを作り、地域と共創できるモデルがあるはず。そのチャレンジを世界へ!!

## 法人概要

|       |                                                                                                                    |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会社名   | 株式会社御祓川                                                                                                            |
| 本社所在地 | 石川県七尾市生駒町3-3                                                                                                       |
| 設立    | 1999年6月                                                                                                            |
| 事業内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>御祓川大学（市民大学）の運営</li> <li>能登スタイルストアの運営</li> <li>能登の人事部による人材コーディネート</li> </ul> |

ウェブサイト ▶ <https://misogigawa.com/>

## ローカル・ゼブラ企業

|          |                                                                       |
|----------|-----------------------------------------------------------------------|
| 株式会社ノトツグ | ▶ <a href="https://www.noto-t.com/">https://www.noto-t.com/</a>       |
| 株式会社みらいに | ▶ <a href="https://www.miraini.co.jp/">https://www.miraini.co.jp/</a> |
| 株式会社能登風土 | ▶ <a href="https://www.notofood.com/">https://www.notofood.com/</a>   |

## 主要な連携者

有限会社白崎シーサイドホテル、数馬酒造株式会社、株式会社エフラボ、  
有限会社七尾自動車教習所、ザ・アグリアンテーブル合同会社  
岸田木材株式会社、株式会社丸一観光、株式会社百笑の暮らし

## 実証地域の特徴・課題

中小企業では新規採用に限りがあることなどから人材が地域外に流出している。地域内企業における人材育成と組織開発のノウハウが不足。慢性的な人材不足による「IT化」へ移行の遅れ。里山里海の担い手不足や企業における人材不足。能登半島地震からの復興。

## 地域課題解決事業の概要

ローカルゼブラ企業と中間支援組織および域内企業が連携して、「人が育ち、事業を伸ばす」環境づくりと、各事業者の育成を両輪で進める。域内企業の事業継続支援やバックオフィス業務の標準化、人材育成、外部人材向けツアーの実施等の複数事業を並行して進めながら、地域のことを考える経営者を増やすとともに、地域外のリソースと地域内の課題をつなげ、地域課題の解決スピードを加速させる。

## 社会的インパクト

人を育てて事業を伸ばす企業の増加による能登の里山里海のエコシステム確立



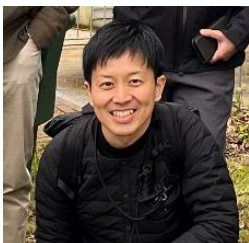
## 目指す地域の姿

里山里海を基盤としたビジネスによって人が育つ土壌を形成し、次の担い手や地域外の企業からの関わりしろを提示し、経営者と企業を育成する循環型地域社会の創出を目指す。

幹事法人 一般社団法人ソーシャル企業認証機構

## Vision

## 地方都市・農村地域の価値、里山と地域の再生を目指して



一般社団法人ソーシャル  
企業認証機構  
事務局長

脇 敬允

## 法人概要

|       |                                                                                                               |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会社名   | 一般社団法人ソーシャル企業認証機構                                                                                             |
| 本社所在地 | 京都府京都市伏見区深草塚本町67                                                                                              |
| 設立    | 2021年5月                                                                                                       |
| 事業内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>企業の評価・認証事業</li> <li>企業・消費者のエコシステム構築事業</li> <li>コミュニティ創出事業 他</li> </ul> |

ウェブサイト ▶ <https://besocial.jp/>

## ローカル・ゼブラ企業

株式会社ROOTS ▶ <https://rootsjourney.jp>

## 主要な連携者

龍谷大学ユネスソーシャルビジネスリサーチセンター  
京都信用金庫、株式会社四辻  
有限会社セメントプロデュースデザイン  
吉田木工、京北堂株式会社

## 実証地域の特徴・課題

高齢化や林業従事者の減少による**人材不足**や**山林・遊休農地の荒廃化**。  
**空き家・遊休不動産の増加**・維持管理のノウハウを有した人材不足。観光スポットが限られることから通  
過交通が多く**観光客の滞在時間が短い**。

## 地域課題解決事業の概要

「植林」と「育林」を体験する**里山再生ツアー**、  
地域の組子細工職人や木工職人の見習いとなる**職人再生インターン**、地域事業を創造する**地域再生スタートアップ**、地域で育つ薬草を活用し古来からの自然と食と健康を繋げる**田畑再生リトリート**といった**里山再生ツーリズム(Regenerative Tourism)**を相互に関連して行うことにより、**里山**への**関係人口**や**移住者**を**獲得**するとともに、**スタートアップ**を創出する。

## 社会的インパクト

環境保護と山林再生、伝統文化・技術の保存と継承、  
教育による伝統文化等の意識向上、地域コミュニティの強化、関係人口の増加



## 目指す地域の姿

都市部の企業や金融機関が有する人、情報、企業、資金と、里山が有する自然資源、関係性、伝統文化を組み合わせることでより**持続性の高い社会課題解決型事業**を生み出して**ゆく地域**を目指す。

## Vision

## 京都に育まれる「文化」を基軸とした経済の好循環システムを後押ししたい



一般社団法人リリース  
代表理事  
風間 美穂

域内事業者が共創する寄附付きのラーニング・ジャーニーを通して、多様に関係し合う産業全体の可視化や課題解決への連携を後押し。中長期的には和食文化に限らず、京都の地域企業がともに異なる分野のサービスや商品展開を共創しやすい環境が築かれることを期待。

## 法人概要

|        |                                                                   |
|--------|-------------------------------------------------------------------|
| 会社名    | 一般社団法人リリース                                                        |
| 本社所在地  | 京都府京都市下京区朱雀正会町1-1<br>KYOCA301                                     |
| 設立     | 2012年5月                                                           |
| 事業内容   | ・ ビジネスプロデュース事業                                                    |
| ウェブサイト | ▶ <a href="https://release.world/jp">https://release.world/jp</a> |

## ローカル・ゼブラ企業

One Rice One Soup 株式会社 ▶ <https://oros-ls.jp/>

## 主要な連携者

株式会社堤浅吉漆店、株式会社ニシザワステイ  
株式会社ソーシャル・エックス、アンドパブリック株式会社  
京都市役所（京都市ソーシャルイノベーション研究所）

## 実証地域の特徴・課題

食文化の多様化により“和食以外を志向する人”が増える一方で、文化を担う“多様な産業の関係人口減少”により、和食に携わる事業者の経営資源や人的資本が確保しにくく、未来への投資も十分でない状況。

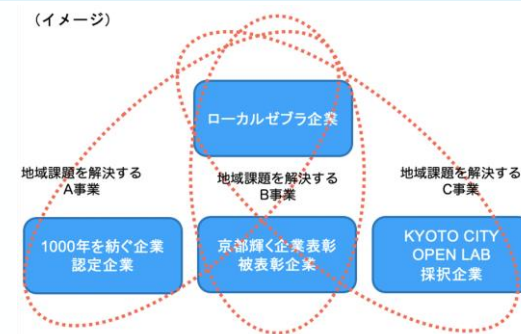
## 地域課題解決事業の概要

文化の基層となす風土や歴史を見つめ、京都に育まれた和食文化の精神性や生態系を多様な視点からリサーチし、事業者の仕事/道具/素材/仕入先の現状等を総合的に学び体感する「ラーニング・ジャーニー」を構築することで、和食文化の関係人口を広げ、域内企業や和食産業に携わる事業者連携を促進する。市場で食材を購入し、料理道具について教わり、漆のお椀で和食をいただく等、様々な体験価値を翻訳することで共創された原資（寄附金など）は次なる商品へ巡らせながら、京都をつくる文化創造者へと託す。

## 社会的インパクト

食文化産業の関係人口の創出、雇用創出、文化の継承と付加価値化

（イメージ）



## 目指す地域の姿

世界文化自由都市としての京都において、地域企業が連携して「自然資本」「文化資本」を増やすような寄附付き商品・サービスを原資に、経済の好循環システムが巡る地域を目指す。

幹事法人 株式会社ウエダ本社

## Vision

## 「あつまる地域づくり」を目指して

株式会社ウエダ本社  
代表取締役社長

岡村 充泰

人を生かした価値創出業として、多様な人や地域資産と外部の知恵や技術を掛け合わせて価値創出するウエダ本社が、豊富な自然資産を持つ“海の京都”エリアで、丹後イノベーションハブ ATARIYAをベースにローカル・ゼブラを生み出していきます。

## 法人概要

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 会社名   | 株式会社ウエダ本社            |
| 本社所在地 | 京都府京都市下京区五条堺町角塩竈町363 |
| 設立    | 1938年5月              |
| 事業内容  | 人を生かした価値創出業          |

ウェブサイト ▶ <https://www.ueda-h.co.jp/>

## ローカル・ゼブラ企業

- 京都スタイル株式会社 ▶ <https://kyotostyle.jp/>  
株式会社 ローカルフラッグ ▶ <https://www.local-flag.com/>

## 主要な連携者

京都北都信用金庫  
ヒロセ工業株式会社  
株式会社飯尾醸造

## 実証地域の特徴・課題

農林水産業また繊維業、機械金属業など世界から評価される品質や技術力がある一方、**市場の縮小**等により**就業者の割合も減少**し、衰退の一途をたどっている。

## 地域課題解決事業の概要

丹後エリアでは、企業数は減少しているものの堅実に事業展開を行っている企業や独自の取組を行っている企業が点在している。これらの地域企業同士、また外部の知識や技術をつなぎ掛け合わせるために必要な**場の提供と場づくりを通してビジネスエコシステムを構築**する。  
そこから、**コミュニティ形成 / 情報発信、市場開発**などを通じて、**地域企業の新規事業展開や事業後継、新たなスタートアップの輩出等**を促し地域全体の産業構造の強化を図る。

## 社会的インパクト

雇用機会の創出、事業承継の円滑化、  
地域資源の有効活用、地域イメージの向上



## 目指す地域の姿

「あつまる地域づくり」をコンセプトに、丹後地域の豊かな資産や技術力を活用し、地域間の交流とビジネス連携を促進させ、**地域経済全体の好循環実現**を目指す。

幹事法人 株式会社まちから

実証地域

福井県高浜町

## Vision

## 「世界のサステナブルタウン高浜」－持続可能な地域経営を目指す

株式会社まちから  
代表取締役  
名里裕介

水産加工場としてスタート。今年からセリに参加し、魚の流通・加工販売を手掛けています。また「明日あったらいいな」を子どもたちも交え実践する高濱明日研究所の活動も行い、次世代一つひとつが、小さな商社のような海業＝生業の町を目指します。

## 法人概要

|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 会社名   | 株式会社まちから                              |
| 本社所在地 | 福井県大飯郡高浜町三明1-12                       |
| 設立    | 2019年6月                               |
| 事業内容  | 水産加工物を中心とした商品企画、開発、販売、マーケティング 各種企画、運営 |

ウェブサイト▶ <https://shop.umikara.co.jp/>

## 主要な連携者

株式会社うみから  
(漁協・仲買でつくる魚と旅するシーフードマーケット)  
en株式会社  
(一棟貸リゾートを展開する若手起業家)  
一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会  
(一次産業ワーケーション「TUNAGUプロジェクト」を展開)  
その他  
漁師・漁協・観光協会・地銀など

## 実証地域の特徴・課題

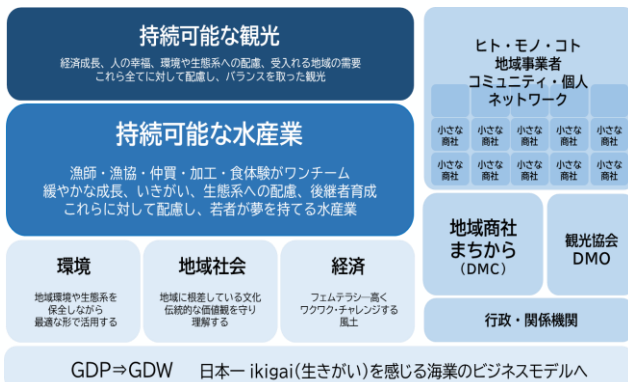
水産業を担う人材の高齢化や日本人の魚食離れ等の現状があり、水産業に関わる若手人材が不足している。また、民宿の衰退等も踏まえ、域内外とのつながりやより密な関係人口が創出され、新たなビジネスモデルとして見える化されていない。

## 地域課題解決事業の概要

水産業の6次産業化を促進することで、地域の関わりしをを広げ、新たな地域ネットワークを多数構築し、海業モデル地区として経営基盤や機運づくりの検討を行う。また、観光との融合に向けて、ワーク環境の整備や地域資源を活用した新しい民宿の仕組・検討を行い、域内消費促進、関係人口の長期滞在を目指す。加えて、一次産業ワーケーション等を通じて、豊かな人生にライフシフトするための条件を地域から提案し、地域内外の人材共創による循環モデルを構築する。

## 社会的インパクト

持続可能な水産業、サステナブルツーリズムの定着、町民・関係人口双方のウェルビーイング向上、多様なステークホルダーとの連携体制構築



## 目指す地域の姿

高浜町の地域資源である海の6次産業化を軸として、域内経済を循環させるとともに、観光業・人材育成等の多様なステークホルダーと連携できる仕組み（地域商社の新たなカタチ・株主人口等）が構築された持続可能な地域。

幹事法人 株式会社石見銀山生活観光研究所

## Vision

## 文化的資源を元にした経済エコシステムモデル創出を目指して



株式会社石見銀山  
生活観光研究所  
代表取締役社長  
松場 忠

私たちはこの事業を通して、地域の社会課題解決につながるモデルケースを創出したいと考えています。地域内事業者や行政、金融機関、また域外の連携企業と共創し、21世紀型のエコシステムの開発を目指していきます。

## 法人概要

会社名 株式会社石見銀山生活観光研究所

本社所在地 島根県大田市大森町ハ183

設立 2019年7月

事業内容

- 不動産開発事業
- 宿泊業 他

ウェブサイト▶ <https://www.gungendo.co.jp/f/aboutus>

## ローカル・ゼブラ企業

株式会社WATOWA ▶ <https://watowa.club/>

株式会社石見銀山生活観光研究所

## 主要な連携者

株式会社山陰合同銀行、株式会社 Huber. (ハバー)  
一般社団法人石見銀山みらいコンソーシアム  
社会福祉法人石見銀山つむぐひび、大成建設株式会社  
日本郵政株式会社、株式会社キッチハイク、大田市役所

## 実証地域の特徴・課題

「世界遺産」の活用ができておらず観光消費が低い。また、保存地区の中に暮らしがある地域であるためすぐに住める空き家が少なく、住居の確保が困難。加えて、域内企業と他地域との賃金格差により、若年人口が流出し、移住者が増えない。

## 地域課題解決事業の概要

文化的資源(古民家、自然、歴史、世界遺産、子育て環境など)を基盤に経済エコシステムと金融スキームを設計し、住居不足解消のための空き家改修を目的の1つとする。地域の「あり方」への共感を重視する企業群・プレーヤーを形成する。

「生活観光」を提案し中長期滞在による高付加価値化を図る。地域おこし協力隊インターン制度や保育園留学を活用し、体験移住を通じ定住につなげる。

## 社会的インパクト

地域の事業者等の収益最適化、関係人口増加や住居確保による人口増加



## 目指す地域の姿

住民も含めた地域のそれぞれの主体の連携と共存をはかり、高付加価値の観光の形を作り「収益性を確保しつつ地域・社会課題を持続的に解決していく」地域を目指す。

幹事法人 株式会社離島キッチン

## Vision

## 隠岐の誇り・歴史・産業・暮らしを子や孫世代に残すことを目指して



株式会社離島キッチン  
代表取締役  
小池 岬

離島の製品を取扱う離島キッチン。島が抱える人手不足の深刻な問題を解決したいと始めた「大人の島留学」。島に集まる若者が成長できる。成長できるフィールドを用意する島も元気になる。関わる全てがプラスになる世界は絶対つくれる。

## 法人概要

|       |                                                                                         |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 会社名   | 株式会社離島キッチン                                                                              |
| 本社所在地 | 東京都中央区日本橋室町2-4-3<br>日本橋室町野村ビル YUITO B1F                                                 |
| 設立    | 2016年4月                                                                                 |
| 事業内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲食店型アンテナショップ運営事業</li> <li>・ 島留学事業 他</li> </ul> |

ウェブサイト▶ <http://ritokitchen.com/>

## 主要な連携者

隠岐汽船株式会社  
一般社団法人海士町観光協会  
株式会社隠岐桜風舎  
株式会社スコープ

## 実証地域の特徴・課題

海上輸送による物価高。少子高齢化や若者流出による生産年齢人口の減少。また、それら要因による産業の担い手不足・観光産業の衰退。

## 地域課題解決事業の概要

観光業における担い手不足の解決に向け、リノベーション等によって新たな宿泊施設を用意し、「大人の島留学（社会人・学生を含む20～29歳を対象としたお試し移住制度）」で島に訪れている若者に運営を任せることで、活躍の場、成長できるフィールドを用意する。  
本事業を通し、島民人口の20%が島留学生在が暮らしている状況をつくることにより、島民と留学生の笑顔があふれる町を目指す。

## 社会的インパクト

都市と地方人材交流の日常化、地域住民と島留学生の交流による地域の活気づくり



## 目指す地域の姿

隠岐の誇り・歴史・産業・暮らしを子や孫世代に残すため、都市部の若者が一定期間、過疎地域で暮らし、成長することが広く認知された状態「大交流時代」を創出し、次世代へ引き継げる持続可能な地域をつくる。

幹事法人 合同会社時代おくれ

## Vision

## U35ローカルスタートアップの街を目指して



合同会社時代おくれ  
代表社員  
今川 宗一郎

三豊市では、ここ5年で約80のスタートアップが生まれています。「自分たちの欲しい日常」を創るために、様々な地域プレイヤーが共に手を取り合って作り上げてきた景色に、さらに磨きをかけていきたいです。

## 法人概要

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 会社名   | 合同会社時代おくれ          |
| 本社所在地 | 香川県三豊市仁尾町仁尾丁1452-3 |
| 設立    | 2020年7月            |
| 事業内容  | ・ 地域のための場づくり       |

ウェブサイト

▶ [https://www.instagram.com/new\\_shinbashi20/](https://www.instagram.com/new_shinbashi20/)

## 主要な連携者

瀬戸内ワークス株式会社（GATE）  
暮らしの大学株式会社  
株式会社喜田建材（くらしの不動産）

## 実証地域の特徴・課題

鉄道がないことによる交通課題。少子化による部活動の縮小化。地域の大学や高等教育の場がないことによる人材流出。地域主要産業がない。高齢化による介護士不足。

## 地域課題解決事業の概要

地域のコミュニケーションスナック・ニュー新橋が、地域の多世代が交流する場として、移住者が地域のプレイヤーに出会い、地元経営者同士がフラットに繋がり、新規事業が創出されるハブとして機能。この場所をきっかけに50人以上の移住、飲食店、スタートアップが複数創業されている。多様な関係者が町の未来を共有し、交流のなかでニーズが顕在化された事業を町の中で順次展開する。

## 社会的インパクト

地域へのUターン、Iターン、若者の飛び込む街の創出

まちの未来を語る場  
(地域コミュニティとの接点)



## 目指す地域の姿

「可能性」・「出番」・「居場所」を作ることにより、自分に合った働き方、暮らし方、生き方ができる「身の丈資本主義」の実現できる地域を目指す。

## Vision

## 自然、文化資本と経済資本の好循環を目指して



公益財団法人  
地方経済総合研究所  
常務理事

中本 秀二

当研究所は「地域経済社会の知恵袋であり続け、未来への扉を共創する」を理念として社会課題解決に取り組んでいます。本実証では「自然、文化資本と経済資本の好循環を目指して」ローカル・ゼブラ企業の自走化支援と地域循環共生圏形成に取り組めます。

## 法人概要

|        |                                                                                                       |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会社名    | 公益財団法人地方経済総合研究所                                                                                       |
| 本社所在地  | 熊本県熊本市中央区紺屋今町1-23                                                                                     |
| 設立     | 1989年4月                                                                                               |
| 事業内容   | <ul style="list-style-type: none"> <li>熊本地方の経済、産業に関する調査研究および提言</li> <li>地域の活性化に関する調査研究及び提言</li> </ul> |
| ウェブサイト | ▶ <a href="https://www.reri.or.jp/">https://www.reri.or.jp/</a>                                       |

## ローカル・ゼブラ企業

合同会社木人舎（こびとや）▶ <https://kobitoya.jp/>  
株式会社山都竹琉（やまとたける）

## 主要な連携者

株式会社新古今社、カダブラ株式会社  
株式会社あさぎり商社、五木村森林組合  
株式会社肥後銀行

## 実証地域の特徴・課題

令和2年7月豪雨をはじめ激甚化する自然災害からの復興が喫緊の課題。人口減少・少子高齢化による労働力不足、それに伴う農林業や地場産業の低迷及び技術伝承の途絶が懸念され、人的要因に加え経済的にも自然、文化等の地域資源の維持が困難になっている。

## 地域課題解決事業の概要

地域課題解決にあたっては、**地域共創流域治水**による安全・安心な地域づくりと連動した産業創生を図る。それにより、**地域内経済循環**を生み出しさらには**域外からの収入を得る仕組み**を構築し、地域が持続する好循環を創出する。  
地域共創流域治水と連動した産業創生として、地域中間支援者は地域が抱える課題を解決する**ローカル・ゼブラ企業の発掘・支援**に取り組む。また、ローカルSDGsの考え方に基づく産業創生として、自立・分散型の社会形成につながる「**地域循環共生圏**」づくりを推進する**プラットフォームの運営**を支援する。

## 社会的インパクト

「環境」、「社会」、「経済」の相乗効果を通じて、地域共創流域治水や水源の保全・涵養につながる新たな循環の構築



両流域の将来イメージ図

## 目指す地域の姿

球磨川流域：流域治水を核とした、安全・安心に住み続けられ、豊かな環境と若者が残り集う持続可能な**地域の実現**を目指す。  
白川・緑川流域：永代不朽のビジョンで地域資源の有効活用により、**SDGs推進と自然、文化が結びつき新産業が創出できる地域**を目指す。

幹事法人 東シナ海の小さな島ブランド株式会社

## Vision

## 持続可能な海域の未来のエコシステム形成を目指して



東シナ海の小さな島  
ブランド株式会社  
代表取締役  
山下 賢太

海という存在は、島と島を隔てるものではなく繋いでいるものだ。挑戦が生まれる海域を目指し、頼れる仲間をつくることで、小さいことを理由に未来を諦めない。離島における経済とは、世をおさめ民を救う経世済民のことだと私たちは信じています。

## 法人概要

|       |                                                                                              |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会社名   | 東シナ海の小さな島ブランド株式会社                                                                            |
| 本社所在地 | 鹿児島県薩摩川内市里町里54                                                                               |
| 設立    | 2012年4月                                                                                      |
| 事業内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>第一次製品の生産・加工・小売事業</li> <li>小売・通販・地域製品の卸事業 他</li> </ul> |

ウェブサイト ▶ <https://island-ecs.jp/>

## ローカル・ゼブラ企業

島守株式会社 ▶ <https://classdo.life/>

## 主要な連携者

こしきツアーズ株式会社  
NPO法人みしまですよ  
SANROKU株式会社  
株式会社oldie-village  
株式会社サンジキ

## 実証地域の特徴・課題

離島は、国防や海洋資源の活用に必要な役割を果たし、離島に人が住み続けることは国益上重要である一方で、**人口減少の影響が大きく、次世代の担い手が不足**している。また、同じ海域であっても、奄美群島振興開発特措法の対象もしくはそれ以外で支援策に格差が生まれており、離島間の連携を妨げる一つの要因となっている。

## 地域課題解決事業の概要

鹿児島県の全離島を対象に民間や行政、あらゆる垣根を越えたコミュニティ「鹿児島離島文化経済圏」を立ち上げ、離島の地域おこしに取り組む事業者・団体のテーマに対して、他地域離島の団体・事業者同士や各地の関連企業等との連携を通じて、事業推進のためのサポーターをつくり、商品開発や販路開拓、人材育成などに取り組む。こうした**離島コミュニティを運営・活用**し、様々な主体が連携することで、知識や技術、資金、人材が域内流動する仕組みを構築する。



※鹿児島離島文化経済圏発足の様子

## 社会的インパクト

良質な雇用の創出、産業の担い手の創出・育成、地域間交流の促進

## 目指す地域の姿

鹿児島県の有人離島28島をフィールドに「**環境文化を礎とした、小さな挑戦を共創し続ける**」持続可能な海域の未来のエコシステムを形成することを目指す。

幹事法人 株式会社musuhi

## Vision

## 150年後の世界に、私たちは何を遺すのか

- 人・組織・社会・地球が共進化する地域共創エコシステムをつくる -

株式会社musuhi  
代表取締役  
野崎 恭平

この時代を一言で表すと「部分最適の限界」と言える。いま求められているのは、バラバラになってしまったものをもう一度結び直し、統合していくことによる「総力戦」と、そこから「集合知」を生み出すこと。この150年ぶりの大変革期に、ここ鹿児島から新たな文明を問ううねりを創ってゆくことが、私たちの目的です。

## 法人概要

会社名 株式会社musuhi

本社所在地 鹿児島県霧島市隼人町小浜28

設立 2021年10月

事業内容

- 組織変革コンサルティング事業
- 地域ビジョン策定事業
- 経営戦略策定事業 他

ウェブサイト▶ <https://musuhi.earth/>

## 主要な連携者

特定非営利活動法人薩摩リーダーシップフォーラムSELF  
小平株式会社、株式会社住まいず  
内村建設株式会社、合同会社hataori  
株式会社リ・パブリック、株式会社XLOCAL  
インタラクティブ株式会社、株式会社教育と探求社  
株式会社PLAYSPACE

## 実証地域の特徴・課題

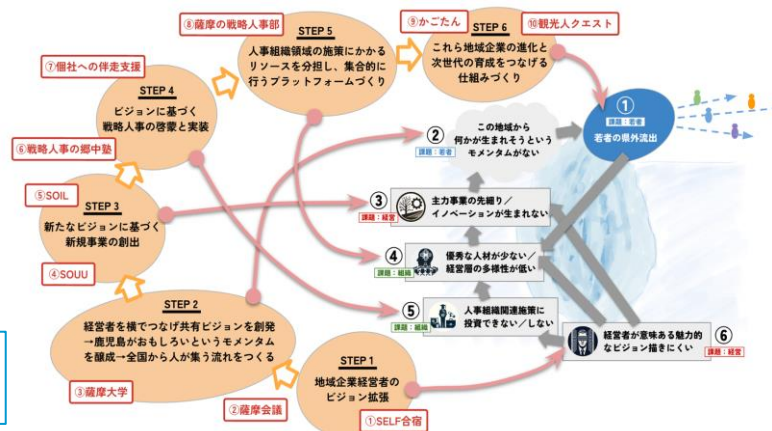
ここ数年、薩摩会議を代表するSELFおよびmusuhiの取り組みにより、鹿児島には新たな社会システム創出に向けたイニシアティブがいくつも立ち上がっている。それが薩摩＝鹿児島という地で実施できるのは、経済資本のみならず、自然資本、文化資本、社会資本（地域コミュニティ）にほとんど等距離に、自由自在にアクセスできるからだ考える。ただし鹿児島は若者の県外就職率は全国1位の人材供給県でもあり、未だ全方位的な取り組みに至っていない。

## 地域課題解決事業の概要

「STEP 1 地域企業経営者のビジョン拡張」から「STEP 6 地域企業の進化と次世代の育成をつなげる仕組みづくり」までの6つのSTEPにおいて、合宿やカンファレンス、伴走支援などの事業を展開することにより、地域企業の進化と次世代の育成をつなげる仕組みを展開する。

## 社会的インパクト

若者の県外流出軽減、地域企業に関わる人材の増加、流出人材のUターン・Iターン数増加



## 目指す地域の姿

あらゆる垣根を超えて多様な市民が全国全世界から集う場を創り、地域企業の進化を軸に意志ある集合知としてこれからの地球社会のあり方を鹿児島を舞台に問い、共に未来を創造する。その先にここ鹿児島から「新たな資本主義社会＝Regenerativeな社会」の型（モデル）を、創発することを目指す。

## Vision

千年先の未来に、豊かな島の循環を目指して



株式会社青空  
代表取締役  
米村 武修

水質汚染、森林破壊など環境と暮らしの課題を解決する森の中の農業「アグロフォレストリー」で、市場性の高いコーヒーとカカオ生産を実現し、関連商品化により農産業活性化を図り、日本に広げる先導者になることを目指します。

## 法人概要

|       |                                                                       |
|-------|-----------------------------------------------------------------------|
| 会社名   | 株式会社青空                                                                |
| 本社所在地 | 沖縄県宮古島市下地来間104-1                                                      |
| 設立    | 2014年11月                                                              |
| 事業内容  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 飲食事業</li><li>・ 農業 他</li></ul> |

ウェブサイト▶ <https://www.aosoragr.com/>

## 主要な連携者

株式会社アンカーリンクジャパン  
南西養蜂園  
THE TREAT合同会社

## 実証地域の特徴・課題

農業の生産性を重視し、暮らしや自然環境側面を重視した農業設計は十分に行われず、伐採による森林消失により「台風被害の拡大」や「水の浄化機能」と「水分保持機能」が低まっていることで、「農業」「暮らし」「環境」へ影響発生。

## 地域課題解決事業の概要

「アグロフォレストリー」農業を今後の温暖化・異常気象下における新しい農業のエコシステムだと考え、温暖化で可能性が高まる南洋作物（コーヒーやカカオなど）を耕作放棄地などを活用し有機栽培することで、自然環境の保持と新たな産業を見出すとともに、通常廃棄されるカスカラ（コーヒー豆の果皮）の新たな販路を見出し、商品化の展開を行う。また、自然と共存する場づくりや、リトリート等での観光産業への寄与も狙う。



廃ハウス活用  
アグロフォレストリー



人財研修や  
リトリート体験

## 社会的インパクト

農業の多様化、自然環境の改善による  
安全な生活や文化の保持

| 異議者                                      | 地域農業型<br>消費者                          | Laboと新<br>食文化の<br>創造                           | 三方良し<br>エコノミクス                         | 日本型ア<br>グロフォレ<br>ストリー実現         | 高収入・雇<br>用創出農業<br>の実現                 | 国産<br>コーヒー             | 国産<br>カカオ             |                      |
|------------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------------------|----------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|------------------------|-----------------------|----------------------|
| 自然環境・<br>農業生産業<br>の伝統的な<br>食文化を<br>守る専門家 | People                                | People                                         | 1000年エ<br>ジプトで<br>実用化さ<br>れた小麦<br>の遺伝子 | Vision                          | 自然と食<br>が育む<br>フォレスト<br>ファーム<br>農場づくり | 食と食の<br>字のビュ<br>メニュー   | Wellness<br>食メニ<br>ュー |                      |
| 子ども達や<br>若手農家に<br>農産物を<br>販売する           | 多種生産を<br>実現できる<br>農業後継者               | 農家の暮らし<br>と暮らし<br>(アート、<br>王冠、着<br>る、食<br>の文化) | 農業従事者<br>と若手農<br>家が考え<br>る農業大<br>国の実現  | 農産物の<br>多様化に<br>向けた上<br>昇率向上    | 廃ハウス利<br>活用と雇<br>用と販路                 | 農業、ウハ<br>ノデステス         | 防風林果樹<br>や森共有の<br>野営等 | 食する地<br>のハーフ         |
| 農業環境汚<br>染による健<br>康被害                    | 低収入・雇<br>用不足など<br>による生活<br>不安         | 気候変動・<br>水不足など<br>による農業<br>と農産物の<br>不足         | People                                 | Vision                          | product                               | 食と食の<br>字のビュ<br>メニュー   | 食と食の<br>字のビュ<br>メニュー  | 食と食の<br>字のビュ<br>メニュー |
| 環境保全と<br>農業生産の<br>両立                     | context                               | context                                        | context                                | context                         | context                               | context                | context               | context              |
| 子ども達や<br>若手農家に<br>農産物を<br>販売する           | 生態系や生<br>産物の多様<br>性が減少                | 環境汚染・<br>水不足など<br>による農業<br>と農産物の<br>不足         | Collabora<br>tion                      | function                        | space                                 | space                  | space                 | space                |
| 水活用技術<br>事業者                             | アグロフォ<br>レストリー<br>専門家                 | コーヒー・<br>カカオの製<br>造企業                          | 三方良し<br>エコノミクス                         | 環境保全と<br>農業経済両<br>立の意義の<br>機能追求 | CSA (他<br>地域支援) 農<br>場のモデル            | 三方良し<br>エコノミクス<br>のモデル | 食と食の<br>字のビュ<br>メニュー  | 食と食の<br>字のビュ<br>メニュー |
| 東京農業大<br>学等(ユニ<br>ンテツ)門<br>生             | Collabora<br>tion                     | 建築家・<br>都市計画<br>家等                             | 食と食の<br>字のビュ<br>メニュー                   | function                        | space                                 | space                  | space                 | space                |
| 行政 (ユニ<br>ンテツ)                           | Blom等・植<br>物生産者<br>のデータ<br>分析・専門<br>家 | クリエイター<br>、アーティ<br>スト、セ<br>ラピスト                | 食の紹介<br>、アライ<br>ブ等の試<br>用              | アウトメ<br>ディア<br>(Web等)           | ECサイト                                 | 食と食の<br>字のビュ<br>メニュー   | 食と食の<br>字のビュ<br>メニュー  | 食と食の<br>字のビュ<br>メニュー |

## 目指す地域の姿

自然の恩恵をいただく農業から未来を切り拓き「産業・経済」「自然・環境」「暮らし・文化」の三方良しとなる循環を生み出し繋いでいく地域を目指す。

## Vision

## 沖縄らしい自律共創型社会の構築を目指して



株式会社うむさんラボ  
代表取締役  
比屋根 隆

個々に活動してきた企業・行政・団体・市民が、共通のインパクト目標を設定し、その最大化に向け連携・共創することの喜びや自信を、この事業を通して育んでいきたい。それが私たちの目指す「沖縄らしい自律共創社会」の軸になると信じています。

## 法人概要

|       |                                                                                                                     |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会社名   | 株式会社うむさんラボ                                                                                                          |
| 本社所在地 | 沖縄県浦添市内間4-5-25                                                                                                      |
| 設立    | 2018年10月                                                                                                            |
| 事業内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>社会起業家育成・伴走支援事業</li> <li>スタートアップ経営支援・投資事業</li> <li>マイノリティの人財育成事業 他</li> </ul> |

ウェブサイト ▶ <https://umusunlab.co.jp/>

## 主要な連携者

ケイスリー株式会社  
一般社団法人デザインイノベーションおきなわ（DIO）

## 実証地域の特徴・課題

観光関連業が多くを占める沖縄の産業構造の中で、**経済全体の賃金水準や生活水準の向上が難しい**。地理的要因により、産業の多様化・拡大・**雇用機会の創出**が制限される。また、教育や公共インフラの整備が不十分で、**県内から次世代のリーダー人材が育ちににくく**、高度なスキルを持つ人材も不足。

## 地域課題解決事業の概要

例えば、県産品を活用した事業、地元の資源を活用したツーリズム、再生可能エネルギーの利用など、沖縄の自然や文化を守りながら**利益追求と社会課題解決を両立するビジネスモデルを多数構築する**。そのために、これらを支える革新的な思考を持つ**起業家や経営者を育成するため教育プログラムと支援システムを整備する**。  
また、**行政や県内企業との協力体制を構築することで、スタートアップ企業に必要な支援事業の実施やリソース・ノウハウを提供する**。

## 社会的インパクト

社会課題解決ビジネスの起業・成長事例の創出による沖縄経済の多様化、次世代リーダーの育成・創出、県内外のステークホルダーの連携体制構築



## 目指す地域の姿

「**沖縄らしい自律共創型社会**」を構築し、豊かさを分かち合える、遅しくて優しい経済の循環を生み出すことのできる地域。